

があるうの意。あるいは、君の恵は多くの人々からは超然と独立しているとも解しうる。）

（日本古典文学大系本 頭注）。

このように道真の詩にみえる「国家」の意味は、「君」のことを指すように思われる。

178 ○溝壑：みぞ。たにま。『漢語大詞典』には「①山溝」と説明する。

○墳 ……ふさぐ。ふさがる。うずめる。

▼「墳溝壑」：「みぞにはまる」。また「野垂れ死にする」。「命をうしなうこと」。↓補説①

179 ○潘岳：晋の滎陽中牟（河南省）の人。字は安仁、生年不詳。幼少のころから聡明で詩文に優れ、奇童と称せられた。容姿が美しく、都の洛陽では婦女がその車を取り囲んで果実を投げ入れたと伝えられる。秀才に挙げられたが、のち衆にねたまれて、都を出て河陽の令となり、のち黄門侍郎にうつり、潘黄門と呼ばれた。石崇と親交があり、賈謐に仕えたが、のち謐が趙王倫に斬られるに及んで、その仲間として石崇とともに殺された。時に永康元年である。その詩文は華麗で、哀詠に長じ、悼亡詩三首（『文選』所収）が伝承せられている。また、「閑居賦」「秋興賦」「西征賦」の作があり、『文選』に収められている。

（『中国学芸大事典』近藤春雄著）

『漢語大詞典』には、「晋潘岳、岳字安仁。故省称「潘安」。潘安貌美、故詩文中常用作美男子的代称」と説明する。元稹「賦得九月尽」に「潘安過今夕、休詠賦中愁」の句が見える。

○宅 ……いえ。ここでは「故郷の家」を指す。↓補説②

180 ○張衡：『漢詩の事典』（松浦友久編）によれば、字は平子、安帝のとき郎中より尚書に至った。すぐれた自然科学者として当時の迷信に反対し、渾天儀（天体の運行を観察する器械）や候風地動儀（一種の地震